

ご参考

ゴビマット(標準型) 施工歩掛 [試算例]

『農林水産省 土地改良工事積算基準(土木工事) 令和5年度版』準拠		
前提条件	1日当たり施工面積	275 m <sup>2</sup>
	製品サイズ	W1.6m×L6.0m品
	法面及び基礎	基礎工及び法面仕上げ工は含まない。
	法 勾 配	1:2.0以上 1:3.0未満
	アンカーピン	異形鉄筋 D16×600×200×600

項目	名称	単位	数量	単価	金額	備考
材料費	ゴビマット(標準型)	m <sup>2</sup>	275			140kg/m <sup>2</sup>
	アンカーピン	本	138			0.5本/m <sup>2</sup>
	小 計					円/m <sup>2</sup>
工事費	土木一般世話役	人	1			公共工事 設計労務単価
	特殊作業員	人	1			公共工事 設計労務単価
	普通作業員	人	3			公共工事 設計労務単価
	ラフレーンクレーン賃料	日	1			排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型25t吊
	諸 雑 費	式	1			労務費合計金額の5%
	小 計					円/m <sup>2</sup>
合 計						円/m <sup>2</sup>

※諸雑費は、ブロックマット専用吊金具の損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上。

# 「農林水産省土地改良工事積算基準 令和5年度」

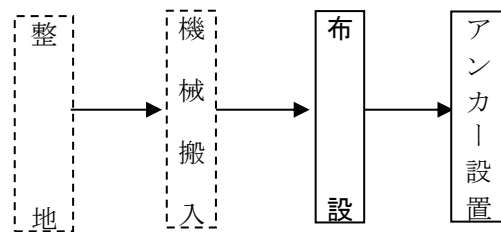
## ⑧ ブロックマット工

### 1. 適用範囲

本資料は、河川および水路における護岸の法面保護・浸食防止を目的としたブロックマットの布設に適用する。

### 2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

図2-1 施工フロー

### 3. 施工歩掛

#### 3-1 編成人員

編成人員は、次表を標準とする。

表3.1 編成人員 (1日当り)

職 種	編成人員
世話役(人)	1
特殊作業員(人)	1
普通作業員(人)	3

(注) 本歩掛には、アンカー(異型棒鋼)設置に必要な労務歩掛を含む。

なお、アンカーは、別途材料費を計上する。

#### 3-2 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表3.2 日当り施工量 (m<sup>2</sup>/日)

ブロックマット長さ(m)	日当り施工量(m <sup>2</sup> )
3.0	145
4.0	190
5.0	230
6.0	275
7.0	315
8.0	355

#### 3-3 使用機械

ブロックマット布設に使用する機械は、次表を標準とする。

表3.3 使用機械

機械名	規 格
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(第2次基準値)・油圧伸縮ジブ型25t吊

(注) ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

## 3-4 諸雑費

諸雑費は、ブロックマット専用吊り金具の損料等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表4.4 諸雑费率 (％)

諸雑费率	5
------	---

## 4. 単価表

(1)ブロックマット布設1日当りの単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表3.1
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
ブロックマット		m <sup>2</sup>		表3.2
アンカーピン		本		
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型・25t吊	日	1.0	表3.3
諸 雑 費		式	1.0	表3.4
計				

## ●参考 アンカーピン使用量

アンカーピンの使用量は、次表を標準とする。

参表 アンカーピン使用量 (本/100m<sup>2</sup>)

法面勾配	数 量
1:1.5以上 1:1.8未満	70
1:1.8以上 1:2.0未満	60
1:2.0以上 1:3.0未満	50
1:3.0	30